WAKAYAMA WORKERS' UNION
組合NEWS
２０２６年８月２５日(火)
第　１５４２６号
発　行　責　任　者
日本製鉄和歌山労働組合
組　織　教　宣　部

組合LINE　　組合HP

代表内線番号　和歌山地区本部　543590
堺地区　652990/海南地区　545555

仕事と練習の両立！
新入組合員28名が「ぶんだら節」で魅せたチームワーク

去る８月１日（土）に和歌山城前のけやき大通りにて「第５８回 紀州おどり『ぶんだら節』」が開催され、２８名の新入組合員が参加しました。当日は、製鉄所のシンボルである高炉の「青い炎」をモチーフにした法被を着用し、伝統的な正調とは一味違うアップテンポな「ニューバージョンぶんだら２１」の曲調に合わせて、市役所周辺を踊りながら練り歩きました。参加した新入組合員たちは、配属先での業務や研修の合間を縫って練習を重ねてきました。本番ではその成果がいかんなく発揮され、息の合った素晴らしい踊りを披露し、沿道に詰めかけた観客の皆さまからも、温かい拍手が送られました。







紀州おどり「ぶんだら節」とは

昭和４４年に始まり、和歌山市民から愛され続けている伝統あるお祭りです。紀伊國屋文左衛門にちなんだ紀州おどりで和歌山城周辺を練り歩き、大勢の人でにぎわいます。第58回紀州おどり「ぶんだら節」のテーマは「継承」で、踊りの技術や心を次世代へと引き継ぎ、それぞれが一歩ずつ磨きを重ねながら、共に未来へとつないでいく願いを込め、本テーマとなっております。

夏の思い出づくり！
「ふるさと海南まつり」のスーパーボールすくいが大盛況!!

去る８月１３日（木）に海南市の「旧ショッピングタウンココ跡地周辺」にて「第３４回ふるさと海南まつり」が開催されました。和歌山労組が加盟する「海南地域労働者福祉協議会」も、地域の皆さまと一緒にまつりを盛り上げるべく「スーパーボールすくい」を出店しました。このお祭りは、お盆などで帰省されたご家族を温かく迎え入れ、地域の交流と憩いの場を提供することを目的に開催されています。会場では屋台や家庭用品販売のほか、ステージでの吹奏楽演奏やアニメソングDJ、盆踊りなど様々な催しが行われ、多くのご家族連れで大いに賑わいました。今回の出店で得た収益金は、海南市を通じて福祉施設等へ寄付されます。和歌山労組は、今後も地域団体との交流を積極的に深め、地域活動の活性化に貢献してまいります。





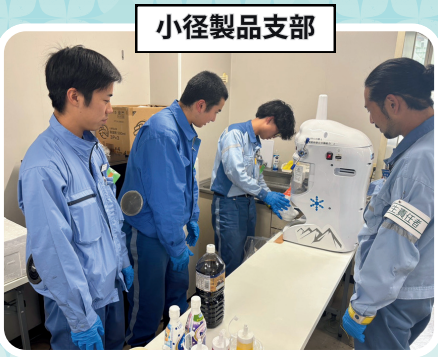
残暑を乗り切ろう！
「かき氷の振る舞い」も残りわずか！

各支部にて、熱中症予防の啓発活動として実施している「かき氷の振る舞い」も、いよいよ終盤に差し掛かりました。まだまだ厳しい残暑が続きますので、冷たいかき氷でほっと一息つきながら、職場の仲間や協力会社の方々とのコミュニケーションの場として、ぜひお気軽にお立ち寄りください！一緒に厳しい残暑を乗り切りましょう!!

小径製管支部



小径製品支部



総務部協



製鋼支部



中央整備支部



すでに２９件発生！
厳しい残暑の「熱中症」に警戒を

まだまだ厳しい残暑が続く中、関西製鉄所和歌山地区・大阪地区（堺）では、すでに熱中症が２９件（８月２５日時点）発生しています。熱中症は、若い方でも重症化する危険があるため、決して油断できません。熱中症を防ぐためには、日々の体調管理が最も重要です。特に「朝食抜き」「睡眠不足」「前日の多量な飲酒」は発症リスクを大きく高めます。 日頃から、体調管理に注意し健康的な生活を心掛けてください。

熱中症が疑われる症状例

- めまい
- 立ちくらみ
- 生あくび
- 大量の発汗
- 筋肉痛
- 筋肉のこむら返り



：涼しい場所へ

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難させる



：からだを冷やす

衣服をゆるめ、からだを冷やす (特に、首の周り、脇の下、足の付け根など)



：水分補給

経口補水液などを補給する

※経口補水液を一時に大量に飲むと、ナトリウムの過剰摂取になる可能性もあります。腎臓、心臓等の疾患の治療中で、医師に水分の摂取について指示されている場合は、指示に従ってください。

※厚生労働省ＨＰ参照



一緒に働いている仲間の様子がおかしい時は、ためらわずに救急車を呼びましょう！

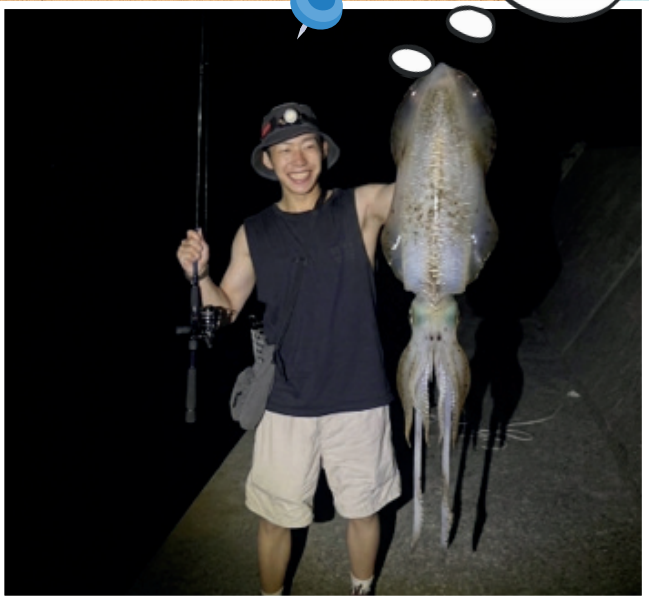
組合員投稿コーナー

ご安全に！
エネルギー支部
早稲田　光翼です。

テーマ「私の趣味」

私の趣味は釣りで、休日になるとよく海へ出かけています。特にイカ釣りが好きで、シーズン中は天候や潮の流れを確認しながら、その日の状況に合わせてポイントを選んでいます。狙った場所で思い通りにイカを掛ける瞬間が一番の楽しみで、これまでにも良型のイカを数多く釣り上げてきました。経験を重ねる中で、エギの色や動かし方を工夫することで釣果が大きく変わることも学び、毎回試行錯誤を楽しんでいます。

釣りは自然を相手にする奥深い趣味であり、これからも技術を磨きながら、さらに大物を狙って挑戦を続けていきたいと思います。



【関西製鉄所施策紹介】

「介護よろず相談窓口」をぜひご活用ください

関西製鉄所では、従業員の「仕事と介護の両立」を支援するため、専門職（産業ケアマネ）による相談窓口が設置されています。介護に関する情報不足の解消や、仕事と介護の両立に向けた働き方の見直しなどについて、専門的な指導・助言を受けることが可能です。「退職」や「休職」を選択してしまう前に、まずは専門家へご相談ください。

組合員の皆さまが安心して働き続けるためにも、ぜひご活用ください。

仕事と介護の両立を、仕組みで支える専門職

産業ケアマネによる

仕事と介護の両立に向けて対応できる介護よろず相談窓口を継続設置しております！（２０２５／４／１～）

仕事と介護の両立に向けてご相談・ご質問のある方は、会社メールアカウントより、社員番号、氏名をご記載の上、下記の相談専用メールアドレスへご連絡ください。（必要な場合、別途WEB上で個別面談可。）

相談専用メールアドレス：info@tsumugukai-osaka.com



▸ 進絵美（ススムエミ）

一般社団法人 日本単独居宅介護支援事業所協会 代表理事

働く人が介護などの問題を抱えた際に、仕事との両立が行えるよう専門的な立場から指導・助言を行う産業ケアマネとして活動中。従業員の皆様の両立相談に対応いたします。

URL：https://www.tsumugukai.net/

介護の不安は、誰にも言えないまま大きくなっていく。

親の物忘れが増えてきた。病院に付き添う回数が増えてきた。故郷に住む親が気がかり。「この先、どうなっちゃうんだろう…。」でも職場では、「介護のこと、どうやって相談しよう…」「迷惑をかけちゃうかも」そうやって、誰にも相談できないまま働いている人がたくさんいます。

介護は「始まってから」ではなく、「始まる前」や「始まりそうな時」からの準備も大切。
でも多くの人は、誰に相談すればいいのかも、職場にどう伝えればいいのかも分からないまま、時間だけが過ぎていきます。



仕事と介護の両立に向けた働き方に迷いを感じたら…
産業ケアマネにぜひご相談ください。

限界まで我慢して突然仕事に支障が出てしまう前に、産業ケアマネに相談しよう！

仕事も介護も、どちらもあきらめない選択を支えます。

清末議員相談窓口　９月スケジュール



清末議員相談窓口の、９月のスケジュールが決定しました。

９月１６日（水）　１７：００～１８：００　組合会館

９月３０日（水）　１７：００～１８：００　海南組合事務所

１０月以降の日程につきましては、組合ニュースで改めて告知します。

